（別紙様式２）利用学習報告書

平成　２９年　３月　１日

仙台市富沢遺跡保存館 館長　様

仙台市立　川平小学校
校　長　　阿部　陽介
担　当　第６学年　小野寺　惠子

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしくお願いします。

記

１　事後指導について

（１）　実　施　日

・　平成２８年　７月　１日（金）　３校時

（２）主な内容

・　社会科の授業で，縄文時代の生活の様子，土器について復習を行った。図工科の授業で縄文土器を参考に焼き物を作った。

２　送付する資料

（１）　児童生徒の学習後の感想（９０点　９０名分）

※７月初旬送付済みです。

３　個人情報保護との関連

提出した資料中の児童生徒については，個人名は伏せてＡ男，Ｂ子と表現しております。お取り計らい方よろしくお願いします。

担当：第６学年　教諭　小野寺　惠子
TEL ２７９―１７１２　FAX　３０３―１２５０
Email　kawadai@sendai-c.ed.jp

私は縄文の森広場に行って体験・資料を見て学習できて分かったことはっきりあります。まず体験学習では勾玉づくりをしました。勾玉づくりでは、滑石を使って作りました。滑石を消しゴムで作ってから、やすりで磨き完成です。縄文時代の人々のアクセサリーを自分たちのオリジナルで作ることができました。次にガイダンス施設では縄文時代に使われていた土器や石器などが展示されていました。
私は土器を写真でしか見た事がなかったので、社会の授業の時に学習した土器（は縄のもようがついているとおもわれるのでまじかで見れてとても勉強になりました。外には縄文時代の人々がくらしていた、たて穴住居を見学しました。たて穴住居は、クリ材を使って、ぬっていることが初めてわかりました。縄文時代の住居内での生きの様子がさぞめて感じました。今回の学習では自分が縄文時代の人々になったような体験をすることができました。

仙台市 縄文の森広場のみなさま
6月2日は勾玉づくりや館内の案内、復元住居のご説明など、ありがとうございました。
佐藤さんの勾玉の歴史のご説明は、初めて知る事がたくさんありとても勉強になりました。佐藤さんをはじめとしスタッフのみなさんには、勾玉づくりについて、たくさんの事を学ぶ事ができました。最初はどうなるのか不安でしたが、とてもきれいな勾玉をつくる事ができ、とてもうれしかったです。
社会の授業で教わったのは、土器を作っていた事や、弓の事位でしたが、この縄文の森広場では、教科書や授業では教われない、家の中の様子、家のまわりの様子をとても近くで見学できたり、中に入ったりする事ができたので、とてもわくわくして、面白かったです。
今回は、お忙しい中、私達のために貴重なお時間をさいていただき、ありがとうございました。

きのうはとてもきちょうな体験をさせて頂きました。縄文の森広場に行って、とても心に残った。ことは三つあります。一つ目は勾玉づくりです。勾玉の形やこめられた意味などをたくさん知れました。勾玉はつくるのは大変で、縄文人の大変さを改めて知ることができました。つくった勾玉は大事にしたいと思います。
二つ目は復元住居です。復元住居はとても縄文時代の住居と似ていて、中もうまく再現できていてすごいと思いました。復元住居はとても暗く暮らしにくいと思いました。三つ目はガイダンス施設です。山田上ノ台遺跡の縄文時代の生活や土器・石器などがよく分かり、ムラの模型で楽にくわしく縄文時代のくらしを知れました。この体験を勉強に生かしたいです。
また期会があればまた行きたいと思っています。

縄文の森広場へ行っての感想
ぼくは、歴史の勉強が大好きなので縄文の森広場へ行けるのが前日から楽しみでした。当日は雨がふっていて、野外での活動がなくなるのではないかと心配でしたが、ふり野外での活動が出来たのはとてもうれしかったです。たて穴住居に入った時はワクワクしていました。そして室内では、また勾玉作りをしました。勾玉の歴史についても学べたのでうれしかったです。それと勾玉を作る時写真での説明、加えむずかしい所は、動画での説明も加えた方が良いと思います。最近雨の日が増え、外での活動をひさしぶりのでお気を付けてください。
6年1組

私が縄文の森広場で知ったことや体験したことはまず勾玉作りです。滑石で作る勾玉はむずかしく、一番不安だったことは線に合わせてブロックを使って滑石の角をけすことです。（けずりすぎていないか、これくらいで大丈ぶかな…）と何回も心配していました。けれどボランティアの方が「こうするんだよ」と教えてくれたので安心して作ることができました。終わってからかたづけをしてもどるとひもが置いてありました。勾玉を通してネックレスにしました。うまくできなかったりそれてん示しているものを見たりたて穴住居に入ってみたりして楽しい貴重な体験ができたと思っています。天候は雨で最悪でしたがこんな体験ができてうれしかったです。
川平小学校 6年1組

私は縄文の森広場で勾玉づくりをしてとってもいい経験になりました。はじめて勾玉を作って思ったことは作るのにとても時間がかかって石をけずるのも大変でした。でも完成したらとってもピカピカの勾玉が作れました。とってもいい体験でした。
縄文ムラへ行くと、復元住居があり、中には6年生の半分の人が入れる空間がありました。クリ材で骨組みを造った、と言っていたのでびっくりしました。
ガイダンス施設では模型などを見て縄文時代のムラのようすが分かりました。
6年1組

縄文の森広場で学んだことは大きく分けて3つあります。1つは勾玉作りです。勾玉は縄文時代からアクセサリーとして作れていて、その形はさまざまですが、たくさんのイメージがありますが、まだたくさん物もありました。石や宝石には、固さのランクがあり、私達が使った石は1でした。一番固いのは、ダイヤモンドというのにおどろきました。2つ目は館内で学習したことです。館内には縄文時代の生活を表した模型などがありました。3つ目は、外にあるたて穴住居です。入り口は当時の男性の平均身長である150cmぐらいだったのですこし低かったです。穴は50cmほどほられていて、栗の木で骨組みができていて、わらで屋根を作っていました。昔の人は道具を自分で作ってのうして安全を作っていたことがわかりました。
今回貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

先日は、縄文の森広場を見学させていただき、ありがとうございました。私は歴史の授業のときに勾玉はなぜ、こんなかたんだろうと不思議に思っていました。でも、勾玉づくりを通して、勾玉の原型（いのしいさは）を学べて、作ったこと、石には硬度があること、耳かざりを再利用して、アクセサリーとして勾玉を使ったこと、石の形やそれで勾玉の形から分かること――など、たくさんの勾玉の歴史を学ぶことができました。勾玉づくりは、じょうずにけずるのが難しくて、でこぼこになってしまったりしましたが、体験した記念になりました。とても楽しく勾玉づくりができたのは、ていねいに説明してくれた佐藤さん、サポートしてくださったみなのおかげです。ありがとうございました。また、実際にたて穴住居に入ってみると、40人くらい入れるほど広く、新たな発見がありました。ガイダンス施設の縄文の模型は、縄文時代のくらしが、とても分かるほど、見ごたえがありました。天候にはめぐまれなかったけれど、縄文時代について、深く学ぶことができました。私にとってとても貴重な楽しい思い出になりました。ありがとうございました。
6-1

縄文の森広場では3つのことを学びました。まず1つ目は勾玉のことについてです。どうして勾玉はまがっているのか、勾玉の形はどのくらいあるかなど勾玉についてくわしく学べました。
2つ目は土器のことについてです。この土器は4000年前の物で、山田上ノ台遺跡から発掘されたと、とても分かりやすく教えてくださいました。
3つ目はたて穴住居の見学です。教科書では見たことがあるけれど実際には見たことがなかったのでたて穴住居の中がくわしく見学できてとても貴重な体験でした。
今後この体験を何かに生かせるよう日々努力していきたいと思います。

ぼくは、縄文の森広場に行って思った事は、竪穴住居があったことにびっくりしまどがないことにもおどろきました。
勾玉作りは、石でを、けずりれみをつけるのにやすりを使ったりしてむずかしかったけど、楽しかったです。
ガイダンス施設では、ムラの模型があってどんな村かよくわかりました。
土器やる器などもあり、本物にあったのかと思いすごかったです。
6年1組

縄文の森広場の方へ
昨日は、糸魚文の森広場への招待ありがとうございました。私は、糸魚文の森で学んだことがたくさんあります。
まず勾玉のことで、勾玉には、ぼくが知っている9つのような形の物だけでなく、色々な形があることがわかりました。そして、勾玉の原点はイノシシの角ということも分かりました。
勾玉作りでは、ボランティアの方にサポートしてもらいました。分かりやすい説明をスクリーンでしてもらってルルルで、ピカピカの勾玉を作ることができました。
館内では、本物の大きな糸魚文土器を見ました。どの土器も元形がいじされていてとても感ぎょうしました。そして、縄文土器もさわれて良かったです。
このような貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございます。

私がこの山田上ノ台遺跡で学んだ事は、縄文時代の人々がすごく大変な思いをしてアクセサリーやぶきを作っていた事、たて穴住居のことです。まず、最初に勾玉作りをしました。勾玉作りは意外にも、大変な作業がタクさんあったり、細かい部分が多かったです。次に、館内の説明をしていただきました。私は、宮城県に縄文時代の遺跡があるのだという事を知らなかったので教えられた時はびっくりしました。縄文時代の事をいろいろ知れてたて穴住居の中にも入れて、私も本縄文人のようになったようでとても楽しかったです。縄文の人々は、すべて手作業で作っているのですごくすごい人々だなつだなと思いました。とても貴重な経験が出来たと思いました。

私は縄文の森広場で今までにやったことのない体験や縄文時代のことについてたくさんのことを学べました。石のアクセサリー作りでは縄文時代のアクセサリーのようにみんな一人一人かたちもちがい。最後までしんけんに話をきいたり作ったりして楽しく体験することが出来ました。また見学では短い時間のなかで館内や外を縄文の森広場のおかたくさん縄文時代のことについて教えて下さりまえよりもとてもくわしくなりました。またホランティアのさん石のアクセサリー作りのさいにたくさんコツなどを教えて下さってとても分かりやすかったです。今回はたくさんの貴重な体験ができました。館内では縄文時代の風景やいろいろな道具などがてんしされていて知らなかったことをたくさん覚えられました。外では実際に家の中へ入り、家の中の様子をしっかりと見ることが出来ました。ありがとうございました。

ぼくが山田上ノ台遺跡に行って思ったのは、アクセサリーを作るのが大変だったことと色々な昔の暮らしをガイダンス形式で分かったことです。
まずアクセサリーは勾玉を作りました。はじめは手をケガしないようにとてもていねいにやりました。大変だったことは、楽しかったことは多分ありました。
次に外の展示物の中を見て、ボランティアクラスを勉強しました。時間は大変短かったけど、楽しめたのでよかったです。

縄文の森広場のみなさまへ
先日、ぼくたちは勾玉づくりや、復元住居、縄文のムラなどを見学して分かったことは、二つあります。一つ目は勾玉の作り方です。勾玉は、どのようなものかはくわしく分からなかったのですが佐藤さんの説明を聞きいて上手につくることができました。二つ目は、復元住居や縄文のムラを見学しました。
ぼくが興味を持ったのは復元住居です。縄文人は、昔どのようにして、土器やくらしをしていたのかが一目で分かりました。
ぼくは、この見学を通して縄文時代の人は、どのようなくらしをしていたのか、どのようなものを作っていたかなどが分かったとても貴重な時間だったと思います。
川平小学校 6年

縄文の森を見学して
私は、縄文の森に行って、まが玉作りなどの体験をしました。まが玉作りは、少し大変だったけど、けずったりするのが楽しかったです。まが玉の歴史にもおどろきました。何度も何度もまるくなるように、つやつやになるようにけずりました。できあがって、つやつやでかわいい形のまが玉ができました。できたときはうれしかったです。
次にしせつ見学などをしました。最初に中を見学しました。縄文の村のもけいがあって、リアルにさいげんされていました。昔、人々が本当に使っていた物などが置いてあっておもしろかったです。
次に、外を見学しました。たて穴住居に入ったとき、けむりのようなにおいがしました。くらくて、少しびっくりしました。たて穴住居を出たら、落とし穴などがあっておもしろかったです。
今回は貴重な体験をありがとうございました。

6月29日(水)の縄文の森広場に行った時、ぼくたち1班車椅子はかたなべさんに案内をしていたきました。

ぼくは、勾玉づくりのとき、色々な注意をしていただき、きれいな勾玉を作ることができました。

施設見学では色々な土器や縄文時代のジオラマなど、たくさんの物をかがやくていねいに案内してくださいました。

外での見学では実際のたて穴住居の中にはいって細かいところまで分かりやすく説明してくれました。

あまり時間がない時でもていねいに教えてくださり、ありがとうございました。

貴重な体験を本当にありがとうございました。

縄文の森広場でぼくが心に残ったことは勾玉つくりですなぜなら楽しく作ることができたからです。初めたさ終わるまでとても良かったです。たて穴住居のくぐりも土器いい人形のかあったりとてもたのしかったです。とても色々楽しになりました。とても楽しかったですありがとうございました。

6月28日に縄文の森ひろばに行きました。

私たちは勾玉つくりをしました。石から作るので大変だろうなと思いましたのいちばんやわらかいだったのでブロックでけずる時に力がいりましたのが、結構けずれました。

なんとなく形ができてやすりで勾玉のへこんだ部分をけずりました。

そして、勾玉の形ができました。

仕上げに勾玉の傷ついた部分をやすりでピカピカにして完成しました。

手触りよくつるつるだったので、さわると気持ち良かったです。

勾玉つくりが終わり、内と外に別れて見学をしました。

縄文時代の模型が可愛いかったです。機会があれば、また行きたいです。

仙台市縄文の森広場のみなさんへ

先日は、ぼくら小学校6年生のためにおいそがしい中、時間をけずりたくさんの事をご指導していただき本当にありがとうございました。

体験させていただいた、勾玉作りではとても楽しく貴重な体験でした。

また、縄文土器や村を見学させていただいた際には、びっくりする事がたくさんありました。びっくりした事とは、まず、土器は、年によってもちがうし、地域によってもちがうと分かった時はびっくりしました。それから、村のなかでおどろいた事は、家の中にまどがない事や、かなり暗かったので、びっくりしました。

この縄文の森広場で、体験したことや見学した事を、これからの学習にいかしていきたいです。

昨日は、縄文の森広場に行きました。縄文の森広場について学ぶ、最初にしたのは、まが玉ペンダントでした。まが玉は、なぜまがっているのか、石の少たさなどを学びました。まが玉を作るのは難しくて、完成するのか、心配でした。でも、ちゃんと完成できたので、よかったです。次に、食官内を見て回りました。たて穴住居の中のようすや、縄文時代のむらのようすを見物しました。

その後に、外も見ました。たて穴住居の中に入りました。中は暗かったけれど、思っていたより広くて、多人数が、入れました。説明では、火をたいて上にいる虫を殺したり、木のろうかをいっぱいだといっていました。ぼくはそのことを、すごいと思いました。縄文の森広場は、すごく楽しかったです。

縄文の森広場のみなさんへ

6月28日のすてきな体験をやらせていただき、ありがとうございました。

私がとくにたいへんだったことは、最初の形から、だいたいの形に始まるとかー番たいへんでした。

けれど縄文の森広場のみなさんのアドバイスにより、ぬけることができました。

分からないことがたくさん、あります。分からない所があっても、みなさんのおかげで、とてもいい勾玉ができたと思います。

作っている時、私は中の様子を見学しました。

一番最初に見た土器はうすっぺらくてようは、ちょっとてきとうでした。その次にもっとしっかりしたところいっぱい、昔のくらしのようすのもけいやものなどがありました。その後、外に行きたてて穴住居の中にも入らせてもらいました。中はとてもくらくてほとんど何もみえませんでした。おねえさまは、さむいだろうなぁ。と思いました。

本当にみなさんのおかげでとてもいい体験ができたと思います。

ありがとうございました。

ぼくが縄文の森広場で学んだことは、まず一つ目は勾玉がどのような理由でこの形になったのかを知れて良かったです。

2つ目は、穴を掘ったときのこんなこうそうだったのか知りたかったのですが実さい入ってみて本は、全部くりの木でつくってりっぱなものだったりと知れて良かったです。

最後に学んだことは、土器についてです。土器は、地味な全部いっしょだと思っていたのですが、地味ふしょうでせんせんちがうところ、ってのがわかり良かったです。ありがとうございました。

わたしは、縄文の森広場を見学して思ったことは、たて穴住居の中は暗く、暗い理由は、まどがないから暗いんだと新発見ができました。

勾玉作りでは、「ブロック」「水」「やすり」「竹のぼう」を使い、勾玉の形にととのえて、かみやすりで、つるつるの勾玉にしていきました。家に帰ると弟が「いいな」「ずるい」などとずっと言っていたので、今度家族で行きたいです。

ガイダンス施設では、とてもリアルな縄文の村が見えました。昔の人々のくらしが分かりました。今に比べたら、昔のくらしはとても大変だと思いました。

短い時間でとてもたくさんのことが学べました。

6月28日縄文の森での学習したこと

今回、校外学習でいった縄文の森で印象にのこっているのは、たて穴住居の中と勾玉つくりです。

たて穴住居は、社会の教科書と同じようなつくりとなっていました。地面をほって、つくったゆかには意味があって天じょうをたかくつくらなくて、すむということで、とても興味深かったです。

勾玉づくりでは、滑石を石やすりでけずるところが印象にのこりました。力はそんなにいれなくてもけずることができました。できた勾玉はとてもきれいで、かがやいていました。

今回の縄文の森では本当の縄文人のようになることができて、いい学習となりました。

糸縄文の森広場に行って最初にまが玉作りをしました。

まが玉作りをする前は、すぐに作れるだろと思っていたけれど作るのはそんなにかんたんではありませんでした。

とくに、難しかったところは、水をつけながらけずるところと磨くところです。

けずるのは、なかなか自分の形どうりにならなくて難しかったです。

磨くところも、ピカピカにならなくて難しかったです。

ぼくは歴史のことをなにも知らなかったのでこの体験会は、糸縄文時代のことがよく分りました。

私は縄文の森広場で印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、石のアクセサリー作りです。まが玉の歴史を知りすてきなアクセサリーを作ることができました。アクセサリーを作るときに石をきれいな形にけずるのがいちばん難しかったですがまが玉の形のアクセサリーを作ることができました。

二つ目は、たて穴住居を見たことです。たて穴住居は暗く天井も低くてびっくりしました。縄文時代の人がこんな家に住んでいたと思うとどんな生活をしていたのかが見てみたいです。

私たちは縄文の森広場にさんでいただきありがとうございました。縄文の森広場を見て縄文時代の歴史がおもしろくなりました。縄文の森広場で学んだことは、社会の授業に生かしていきたいと思いました。本当にありがとうございました。

子

石のネックレスをつくった時の感想

まじいんちょうたちがまがたまのへこんでいる部分をけずることで、まがたまの形が変にならないように、うまくけずれないようにすることが大変でした。おもしろかったことは、縄文人が大きなイヤリングをつけていたのを初めて知りました。びっくりしたことは、私たちは、まがたまのようなけずりやすいものを使ったのに、縄文人は、けずりやすい道具を使わずに私たちよりはるかにかたいものをけずっていたことを聞いて、すごくびっくりしました。

たて穴住居に入った時の感想

中は、すごく暗くてびっくりしました。今では、電気があるのに、たて穴住居には電気もないし、まどもなくこんなに暗いなかで生活するのは、すごく大変なことだと思いました。

園内での感想

縄文土器を見た時には、これが縄文人のつくった土器なんだ！とすごく感動しました。

今回はとても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

縄文の森広場で学習した勾玉づくりは、大きい石やすりでけずりました。けずるのは、むずかしくて、大変だったけど、やさしく教えてくれたので、上手に作ることができました。たて穴住居は、入ったときに、暗くてびっくりしました。説明で屋根の上にエをのせて雨もりしないようにするということには、すごいなと思いました。昔の生活の模型は、狩りをしているところや、たて穴住居を作っているところなどを見て細かいところまでできていてすごかったです。今回縄文の森広場に行って縄文時代のことがもっとわかりました。勾玉づくりや見学はとても楽しかったです

ありがとうございました。

6年2組

私は縄文の森広場に行って学習したことは3つあります。

1つ目は縄文の時代にくらしていた人々のくらしです。人々は女性は縄文土器をつくり男性は狩りをしたりして生活していました。

2つ目は、家のつくりです。教科書では、よく分からなかったのですが、中に入ってみるとまっくらでよく暗やみのすごさやなんとおどろきました。

3つ目は人々の服そうなどです。いまの人々のように赤や青などのきまざまな色がなく、茶色でした。アクセサリーは、少しく色がついてありがわいらしかったものもありました。女性が耳につけていたものがビックリしておどろきました。

あと、家で勾玉をつくりたいです。ありがとうございました。

6年2組

ぼくは、仙台市縄文の森広場に行って、大変だったことや楽しかったこと、思い出に残ったことがたくさんあります。

大変だったことは、勾玉作りをして勾玉を磨いたときに傷がまだ多くて一生けん命磨いても傷が多くてしき。たことです。

楽しかったことは、土器や縄文時代のくらし、道具などを見たことです。

思い出に残ったことは土器や縄文時代に使っていた道具が約四千年も前だったことです。

とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

縄文の森広場で私が楽しかったことおどろいたこと、学んだことはたくさんあります。

勾玉作りでは、まずダイヤモンドはとてもかたく、レンガでけずろうとすると、逆にレンガがけずれる、ということにおどろきました。私たちが使った石は、とてもけずりやすい。そのことでしたが、形にそってきれいにけずるのは、とても難しかったです。最後にやわらかい、紙やすりでみがくと、表面がとてもツルツルになります。とこの作業をしたいと感じました。

その後、外にあるたて穴住居を見学しました。中に入ると、少しけむりのかおりがしました。思っていたより広かったです。ひんやりとして少しくらく、何よりとても暗かったです。けっきょくまどがなくて、でもドアが南向きなので少し光が入りますが電気がないのは不便だと思います。

縄文の森広場、たくさんのこと知りました。この貴重な経験を今後の社会の学習に役立てたいです。ありがとうございました。

縄文の森広場で学習したこと

私達は最初に勾玉つくりを体験しました。意外に難しくて、丸くするのはとても大変でしたが、とても、きちょうな体験で、思い出に成りました。その後、私は、中の展示物を見ました。その中でも一番目についたのは土器です。色々な模様の土器がありました。外では復元住居を見たり、実在に中にも入りました。昔と今とを比べ、全く家の作りがちがく、まどが1つもありませんでした。また電気もないので、一日中暗かったのだと思います。

私は、この短い時間でしたが、とてもきちょうな体験で、縄文の人々のくらしを味わえました。作った勾玉は、家でかざって思い出にします。

本当にありがとうございました。

6年2組 [redacted]

縄文の森広場で学習したこと

縄文の森広場で、私が学んだこと、感じたことは、まず、勾玉つくりです。勾玉つくりでは、けずるのが難しく、形を整えるのが大変でしたけれども、とても楽しくてできました。次に施設の見学では、縄文時代のくらしや、風景がわかりました。次は、借の人の家のくらしです。中は、とても暗くまどがありませんでした。それに、けむりのにおいがしました。そして、縄文人のくらしや住んでいた家はどういうものかを学びました。私は、この縄文の森広場を見学して、縄文人は勾玉というアクセサリーをつけたりしていて、昔は、まどがなくて、たて穴住居に住んでいるということがわかりました。この縄文の森広場で、借の人のくらしや家の中の様子がどういうものかを学びました。

6-2 [redacted]

縄文の森広場で学習したこと

縄文の森広場に行きました。

まず、曲玉づくりをしました。曲玉は、やすりとブロックでけずっていきました。けずるのは、難しく、力がうまくけずれず、縄文人は「こんなたいへんなことをしていたんだな」と思いました。

しかしやすりでツルツルになったのが、すごいと思いました。

縄文人がすんでいたたて穴住居は、入ってみると入り口はせまくなっていたです。でも、中は広くて、びっくりしました。中には、まどもなくくらしているのがすごいと思いました。

縄文土器もいろいろなものがあっておもしろかったです。

6-2 [redacted]

6月28日縄文の森広場

縄文の森広場で学習したことは、曲玉作りと縄文時代のことを学びました。

曲玉作りでは、コンクリートやヤすりで石をけずり、マッキーで曲玉の形を書いて作りました。とても力が入り、手首がとてもつかれました。曲玉の形ができたら、90度の所をコンクリートやヤすりでけずりました。とてもうまく曲玉を作れました。

外では、昔の人の家の中へ入りました。とても暗くて、おばけ屋しきができるぐらい暗かったです。家には、まどもありませんでした。とてもいい学習になりました

川平小学校6年2組 [redacted]

6月28日に私たちは校外学習として、縄文の森広場に行きました。

目的地に着いてからまずは、じめに、潤石で勾玉を作りました。潤石をやすりや大きな石でけずっていく作業はとても大変でしたが、今までにしたことのない経験でとても楽しかったです。形が出来ていくにつれて友達との会話もとることができました。

見学のときには外に出てたて穴住居の中に入りました。中は暗くとてもせまく感じました。中べにはいろりを置くところがあり昔はさちんとした台所はありませんでしたが今も昔も料理をしていることは同じなんだなと思いました。

勾玉を作るときや外へ案内をしてくださりありがとうございました。

6年2組 [redacted]

[redacted] 6-2

縄文の森広場、やまだうえのだ遺せきで学習したことは縄文時代のたて穴住居についてや縄文時代の日常の生活についてが道具を何に使ったのかなどです。たて穴住居はきれいでかなく、室の中は柱の木でできていました。ドアには、カギがなく、ドアを開けた時は、外に出て、上に開けるということが分かりました。日常の生活については、まず、理由がある室の中でわざと火をけむりを出すということです。それの理由には昔の人なりの工夫がありました。理由は、木を長持ちさせるためだということです。昔の人たちも日常の生活でいろいろな工夫がされていたということが分かりました。道具については、なぜこのような形になっているのか、このような形になったのは、ここうだからなどの工夫があって昔の人たちはとてもすばらしい工夫をしていたということがこの学習で分かりました。とてもいい学習になったと思います。

縄文の森広場で学習したこと。

縄文の森広場では、教科書だけでは学べないことを学べました。

まが玉作りでは、なぜまが玉がまがっているのかを知りました。初めは、イノシシのきばでできていると、知りませんでした。ほかにも、見たことない形のまが玉について、教えてもらいました。まが玉づくりが終わると、展示室に行きました。土器も縄文時代の中に種類があることを、教えてもらいました。次に、たて穴住居見に行きました。

とてもくらくて、せまかった。

この、縄の森広場にこれたよかった。

6-2 [redacted]

縄文の森広場で学習したこと

今日、私達はいろいろな学習をしました。まず、一番最初にまが玉作りを行いました。私はこのようなことはあまりしたことがないので不安でしたが、スタッフさんやボランティアの方達に教えてもらい上手に出来ました。ですが私は仕上げの横程でやすりをもっと使っていれば良かったなと思いました。次は展示室の見学をしました。弘田上ノ台遺跡から発見された縄文土器などを見学しました。どれも初めて見るものでびっくりしました。最後の見学は外の縄文時代の家を見ました。人々のくらしを知ることが出来ました。「なるほどぺ」と思ったことがたくさんあった今回の見学。とても勉強になりました。

6年2組 [redacted]

縄文の森広場で学習したこと

・まがたまを造ったとき、とがいと難しく初めはうまくいっていなかったけど、ボランティアの人に教えてもらい最後にはうまくいってつくれたです。

・見学をしたときに縄文時代の人々がこのようにくらしているのが分かりました。

・たてあな住居見に行ったとき、中は広かったけど高さがなく低くて暗くて。

・たてあな住居に入ったときにけむりのにおいがしました。

・当時の人の平均身長が153cmと聞きおどろいてしまいました。

・当時の人たちの服そうがどのようなものか分かりました。

・今日はこのような、ところに行って縄文時代のいろいろなことを知ってとても勉強になりました。

※縄文の森広場で学習したこと

今日、行った山田上ノ台遺跡は、縄文時代の遺跡であって昔しの村でした。そこの家を部分ごとに分けたりするのに、前ちゃ、そうやすりをするのでしょうか。

※縄文ムラでは、一番歴史をケんしたのは、ムラの中のねん土を取ってこうそうでうつ家がいんしょうでした。あの、火をたいてよくせんそくやはりがいっぱいあり、平気にさせたのがふしぎでした。いくらかんきせんの穴のつき方でもあったっていえばおそうじおわなかったと思うし、火を近くにおいて火災とかどうするのかなと思い出した。

6年2組 [redacted]

〈縄文の森広場で学習したこと〉

縄文の森にある「弘田上ノ台遺跡」のたて穴住居の中は、とても暗かったです。だから、たて穴住居の入り口は全て南側を向いているということをはじめて知りました。縄文時代の人々はかしこいなとも思いました。もう1つ、びっくりしたことは、家の中で少しにおいがしたからです。でもこれも工夫の1つで家の中でわざと火をおこして柱の代わりになる木がくさらないようにしているということだそうです。これについても縄文の人々はかしこいなと思いました。

室内にある展示室では、ジオラマを見ながら縄文時代の人々のふだんの生活は、今とはぜんぜんちがうくらしでこの生活があたりまえだ。と思うと、体験してみたいなと思いました。

この校外学習では、縄文時代の生活や住居について詳しく知ることができて良かったです。

多分(仮) 縄文の森広場で学習したこと

今回の縄文の森広場で学習したことは縄文時代には今の生活のもとになるものがたくさん考えられてきたんだと思いました。特に工ふうされていると考えたのは、縄文時代の家で、どのようにすれば生活できるかをよく考えていた家で素晴らしいと思いました。

てんじ室1・2で見た縄文時代の人が食べていた食べ物や土器などのようにくらしていたかが分かる模型のようなものがありました。今のように不自由なくたくさんの知識や工ふうがこめられてるんだな。としみじみ考えました。

[redacted]

縄文の森広場で学習したこと

ぼくは縄文の森へ行ってたくさんのことを学びました。

一つ目は、勾玉づくりについてです。勾玉づくりは、六年生全員でいっしょに勾玉をつくりました。最初は三角形の石から、マジックで線を書いてそれにそって、ブロックとやすりをつかってけずっていきました。おもったよりとふくけずれてとても[illegible]できました

二つ目は縄文時代の生活や物づくりについてです。このことについては資料をきいたり資料などをつかってしることができました。

6年2組 [redacted]

今回、縄文の森広場に行って学習したことは、とてもよかったです。今日は、4年生が行きました。勾玉作りをする作業でかなり使うのでつかれがすこしなくなりましたが、想ぞうより、力が必要だ、ということを少し驚きました。また、作るのが難しかったので、時間がかかることが大変なかりました。作ることで、その作業しかったので、また時間があったらやりたいです。

2つ目は、屋内の展示の見学でした。屋内の展示室には、縄文土器や模様の土器などが、まり面白かったです。土器を回転させて土器を見ればいろいろな面白かったです。でもそれ、たんけんノートの中、なれていた問題を解くことで、縄文時代のことをもっとくわしく知ることができました。この体験会を通して色々なことを知ることができました。本当にありがとうございました。

[redacted]

縄文の森広場で学習したこと。

私は、縄文の森広場に行ってたくさんの事を学びました。

一つ目は、学年全員でやった「勾玉」(まがたま)作りです。

石や竹のぼう、やすりなどを使って作業をしました。作るのはとても難しく、大変でした。

二つ目は、施設の中で「土器」を見ました。いろいろな形やもようの土器がありました。

三つ目は、外で竪穴住居を見ました。中には、まどや電気がなくて暗かったです。

[redacted]

縄文の森広場で学習したこと

私は、初めて縄文の森広場についてどんなもののアクセサリーを作るのかすごく楽しみでした。

ぼくたちが作ったのは、「勾玉(まがたま)」というつるつるできれいなアクセサリーでした。

作るときには、石をどれだけけずれば、いいのか、どのようにけずればいいのかを、ボランティアの方や佐藤さんがスクリーンを使って説明したり、実際にけずってくれたりしたのですごくわかりやすかったです。

人それぞれでいろいろな形ができるのがすごくおもしろいと思います。

見学では、実際に遺せきのあった場所に作ったのがすごいと思いました。

でも、時間がなく、たので次に行くときは、ゆっくり見たいです。

6年2組 [redacted]

縄文の森広場で学習したこと

6月28日に縄文の森広場へ行き初めにまが玉作りを体験させてもらいました。四角形の石からとくちょうのある形をやすりとブロックでとってできるのかと心配でしたが大変だったけど縄文の人たちはやすりもなく作っていたことを思うともとりさまました。広場へ行って家に入るとこけたにおい。まどや電気がなくて中がまっくらでした。家の外側には土がしいてありました。長きょに家を見てみたり入ってみたりでき学習できてよかったです。

縄文の森広場で学習したこと。今回、縄文時代の人々のくらしや、文化などが分かりました。家はおおのように見えるたて穴住居、皿(はち)の模様のある土器、昔のアクセサリーまがたまなどがありました。曲玉など昔は、おったくちがくて昔の人の工夫やくろうなどがわかりました。今回の学習によって、昔のくらしをこまかくそうぞうすることが出来ました。この学習によって皆が少し変わったなと感じました。

6年2組

縄文の森に行ってみて

私は縄文の森に行ってたくさんのことを学習しました。

最初に、縄文のアクセサリーを作りました。

とても大変で難しかったです。石や竹などを使いましたが、石でけずるとき、まちがえてつめなどをけずってしまいました。わっかのようにはいかなくて友達と一緒に考えながら、作りました。そしてつるつるで上手に作れました。

そして縄文のムラなどがありたて穴住居がありその中に入りました。中はとってもかわいやすく、生活の様子が、分かりました。私は、前に行ったことがあり今回で2回目ですが、また行きたいと思いました。

6年2組

縄文の森で学習したこと

今回の学習では、縄文時代の家や縄文土器の事と物には歴史があるという事を学びました。

家は現代の家と違いせまく木でできていました。それと、家のやねなせ火をたくのかなぞもありました。

縄文土器は、すごく大きいのからちいさいの色のありました。なかでもきれいな形の物をありました。

それと、今回の学習で曲玉作りはいんしょうに残りました。

曲玉も大切にあつかいます。

6年2組

6月28日に縄文の森広場へ行き、色々なことを学ぶことができました。

一つ目は縄文の人はどんな家に住んでいたのかなどです。「たて穴住居」というつくりになっていて中は少し暗く地面が低くなっていて、びっくりしました。このたて穴住居にも色々な工夫がされていておもしろかったです。例えば、日の光が入るように南にドアがあったりと、たくさんありました。

二つ目は、縄文の人はどんなくらしをしていたかということです。縄文人は魚や木の実を食べて生活していた。狩りをするときはどのようなものを使っていたかということも知ることができました。

さいごに、勾玉づくりは少し時間がかかったけれど自分オリジナルの勾玉をつくることができ、とても楽しかったです。

このように、たくさんのことを学べた「縄文の森」にまた行ってみたいなと思います。この学習を通して、今後の生活に生かせたらなと思いました。

6年2

縄文の森広場で、学習したこと

わたしは縄文の森広場に行って、印象に残っているのが2つあります。

1つ目は曲玉作りです。ブロックで石をけずったりやすりでけずったりするのが大変でしたが仕上げのやすりでけずったとき、ぴかぴかにかがやいていてとてもキレイだと思いました。

2つ目は、たて穴住居についてです。話を聞くと、家の出入り口は、日光が入りやすいように南向きになっていること、木がにたまないようにけむりをあがせて黒くしていること、家の近くにくりの木を植え、食べ物にしたり、大きくなったら木で家を作ったりしていることが分かりました。

他にもたくさん学んだことがあります。わたしは家でも縄文時代について調べたいと思いました。

6年2組

縄文の森広場で学習したことの中で印象に残っていることはまず、まかたま作りです。最初にまがたまを作る前にまがたまがなぜまがっているかなどを聞きました。

初めてまがたまを作るやをこわってそこへ人の石とちがうことを改ためて思いました。

作り方を教えてもらってわかんたのなと思。たけれどけずるのにちからが必要で指がすごくいたくなりました。けど最後のひら面の傷がなくてつやつやに光る業は楽しかったです。

縄文の森広場で学習したことの中で印象に残っていることはまず、まかたま作りです。最初にまがたまを作る前にまがたまがなぜまがっているかなどを聞きました。

初めてまがたまを作るやをこわってそこへ人の石とちがうことを改ためて思いました。

作り方を教えてもらってわかんたのなと思。たけれどけずるのにちからが必要で指がすごくいたくなりました。けど最後のひら面の傷がなくてつやつやに光る業は楽しかったです。

縄文の森広場で学習したこと

昔の家が建っていて、その中に入る床が石になっていました。

家の中に穴ができていてこで昔の人は、調理場だったとなっていました。

家の作りに使われていたのが松の木でした。

家の屋根にのっていたのが土で、雨がふったときに入らないようにするために土が家の屋根にのっていたいまた

その前に作ったネックレスを作りました。

それは、昔の人が身に付けていた物でした。

曲玉と言う名前だそうです。

縄文の森広場で学習したこと

昔の家が建っていて、その中に入る床が石になっていました。

家の中に穴ができていてこで昔の人は、調理場だったとなっていました。

家の作りに使われていたのが松の木でした。

家の屋根にのっていたのが土で、雨がふったときに入らないようにするために土が家の屋根にのっていたいまた

その前に作ったネックレスを作りました。

それは、昔の人が身に付けていた物でした。

曲玉と言う名前だそうです。

縄文の森広場で学習したことの中で印象に残っていることはまず、まかたま作りです。最初にまがたまを作る前にまがたまがなぜまがっているかなどを聞きました。

初めてまがたまを作るやをこわってそこへ人の石とちがうことを改ためて思いました。

作り方を教えてもらってわかんたのなと思。たけれどけずるのにちからが必要で指がすごくいたくなりました。けど最後のひら面の傷がなくてつやつやに光る業は楽しかったです。

6月28日に縄文の森広場へ行き、色々なことを学ぶことができました。

一つ目は縄文の人はどんな家に住んでいたのかなどです。「たて穴住居」というつくりになっていて中は少し暗く地面が低くなっていて、びっくりしました。このたて穴住居にも色々な工夫がされていておもしろかったです。例えば、日の光が入るように南にドアがあったりと、たくさんありました。

二つ目は、縄文の人はどんなくらしをしていたかということです。縄文人は魚や木の実を食べて生活していた。狩りをするときはどのようなものを使っていたかということも知ることができました。

さいごに、勾玉づくりは少し時間がかかったけれど自分オリジナルの勾玉をつくることができ、とても楽しかったです。

このように、たくさんのことを学べた「縄文の森」にまた行ってみたいなと思います。この学習を通して、今後の生活に生かせたらなと思いました。

縄文の森広場で、学習したこと

わたしは縄文の森広場に行って、印象に残っているのが2つあります。

1つ目は曲玉作りです。ブロックで石をけずったりやりでけずったりするのが大変でしたが仕上げのやすりでけずったとき、ぴかぴかにかがやいていてとてもキレイだと思いました。

2つ目は、たて穴住居についてです。話を聞くと、家の出入り口は、日光が入りやすいように南向きになっていること、木がにたまないようにけむりをあがせて黒くしていること、家の近くにくりの木を植え、食べ物にしたり、大きくなったら木で家を作ったりしていることが分かりました。

他にもたくさん学んだことがあります。わたしは家でも縄文時代について調べたいと思いました。

6年2組

私が縄文の森広場で学んだことはまず玉縄文人のくらしについてです。

まが玉は、私が思っていたのとちがいました。でこぼこしたのもあれば楕円長いのもあったからです。まが玉作りを体験して、ブロックでけずっていたときに、力を入れれば、すぐにけずれたので、かんたんに最初はできました。やすりなどで形をととのえて最後までおわるまでかなり時間がかかり、縄文人は、もっとかたいものを時間をかけてやっていたことがわかりました。

縄文人のくらしでは家の中に入ってみて、入り口が低くてまどもなくとてもくらかったです。こんな家で生活をできた縄文人がすごいと思いました

縄文の森広場体験を通して

[redacted]

僕が縄文の森広場で印象に残ったことは、2つあります。

一つ目は、たて穴住居の中を見たことです。見学では、やりもたが、実際に入ったことはなかったので、新鮮で、思ったより暗くおれかんたです。屋根の上には、土が乗っており、雨漏りをふせいでいたらしいです。

二つ目は、勾玉作りをしたことです。初めて作るのでけずりとするのが大変でした。でもボランティアの人が、教えてくれたので、スムーズに作ることができました。でも、少し形悪く、失敗したこともあったが、でもやりがいがあってよかったです。縄文人は勾玉やアクセサリーを作り、海や狩りして過ごし、大変な毎日を送っていたと改めて、知りました。

僕はもっと歴史や昔のことが好きになりました。この学習を生活に取入れ、家や学校で生かそうと思います。

6月28日に縄文の森広場へ行き、色々なことを学ぶことができました。

一つ目は縄文の人はどんな家に住んでいたのかなどです。「たて穴住居」というつくりになっていて中は少し暗く地面が低くなっていて、びっくりしました。このたて穴住居にも色々な工夫がされていておもしろかったです。例えば、日の光が入るように南にドアがあったりと、たくさんありました。

二つ目は、縄文の人はどんなくらしをしていたかということです。縄文人は魚や木の実を食べて生活していた。狩りをするときはどのようなものを使っていたかということも知ることができました。

さいごに、勾玉づくりは少し時間がかかったけれど自分オリジナルの勾玉をつくることができ、とても楽しかったです。

このように、たくさんのことを学べた「縄文の森」にまた行ってみたいなと思います。この学習を通して、今後の生活に生かせたらなと思いました。

縄文の森広場で、学習したこと

わたしは縄文の森広場に行って、印象に残っているのが2つあります。

1つ目は曲玉作りです。ブロックで石をけずったりやりでけずったりするのが大変でしたが仕上げのやすりでけずったとき、ぴかぴかにかがやいていてとてもキレイだと思いました。

2つ目は、たて穴住居についてです。話を聞くと、家の出入り口は、日光が入りやすいように南向きになっていること、木がにたまないようにけむりをあがせて黒くしていること、家の近くにくりの木を植え、食べ物にしたり、大きくなったら木で家を作ったりしていることが分かりました。

他にもたくさん学んだことがあります。わたしは家でも縄文時代について調べたいと思いました。

6年2組

縄文の森広場見学して

[redacted]

ぼくが縄文の森広場で学んだことはいっぱいあります。1つ目は勾玉の由来で勾玉は動物のはからはじまったことです。学校ではならわなかったのでびっくりしました。2つ目は勾玉の作り方です。ぼくは昔の人がすごいと思います。ぼくたちはいちばん簡単な石で作っていたんだったのに昔の人はもっとかたい石でつくっているからです。ぼくはそのほかにもこの山田上台遺跡で家つくりや家のまわりのつくりなどをたくさんきくことができました。この学習を社会の勉強にいかしていきたいです。

縄文の森広場を見学して

[redacted]

わたしは「勾玉作り」が一番楽しかったです。初めて「勾玉作り」を体験しました。でも、以外とかんたんに作れたので楽しかったです。曲線をけずるのは少し難しくて苦戦したけれど、ボランティアの人が優しく教えてくれました。

次に「たて穴住居」へ入りました。家の中はうす暗くて、こかくさくて少しこわかったです。でもあのような広い家を昔の考えで作るのはおどろいてすごいと思いました。

最後に展示フロアへ行きました。わたしは、ムラの模型を見るのが楽しかったです。いろんな人がいて何事をしている様子も分かりやすくなっていて勉強になりました。「八十ちゃんの家」はいろんな物があったりしていて、興味深い展示だなと思いました。

縄文の森広場での学習を通して

私は縄文の森広場での学習では学校では行わなかったことを学びました。まず最初に行った勾玉作りはとても楽しく勉強になりました。滑石を大きな石でけずりへこんだところをやすりでけずって勾玉の形にするけずるこうていが一番楽かったです。私は勾玉などのアクセサリーがいろいろな種類の石や鉱石から出来ることはしりませんでした。勾玉がつるつるだったととてもいやされます。楽でもけずってました。

外の見学ではたて穴住居の中を見学しました。中は暗く、以外と広かったです。建物の中ではハナちゃんの家の中を見たり、クイズの答えを書いたりしました。実物をさわったり見たりしてよくわかりました。この体験学習はとてもいいものになったと思います。

縄文の森広場を見学して学んだこと

私は縄文の森広場での見学や体験を通してたくさんのことを学びました。展示室を見学すると昔の人のくらしの様子や食べものについて学校で学んだことよりもくわしく知ることができました。たて穴住居に入ったときは、今の家よりせまくてまどがないためとても暗く感じました。家はくりの木でできていて、屋根にのっている土は雨もりや風よけの役割があったり、地面がほってあるから屋根を高くしなくていいというたくさんのお話を聞くことができてとても良い経験になりました。勾玉つくりでは丸い形にできなくて大変でしたがボランティアの方に教えていただき世界に一つだけの勾玉を作ることができて良かったです。この見学や体験で学んだことをこれからの学習に活かしていこうと思います。

縄文の森広場を見学して

縄文の森広場に行って最初に滑石で勾玉を作りました。最初にマイネームペンで自分の勾玉の形を書きました。その後、スクリーンで勾玉の作り方を見るととても大変そうだし難かしそうだなと思いました。その後、石や紙やすりを使って作りました。石で滑石をけずっているときは手が痛くなりながら楽しかったのでいっしょうけめいすることができました。あまりつるつるしている石にはならなかったけどとてもおもしろく楽しい体験にできました。

次に見学をしました。外にでて山田上ノ台遺跡に入って中を見学しました。とても暗かったです。最後の展示室では、たくさん学ぶことがありました。

縄文の森広場を見学して

私は縄文の森広場に行っていろいろなことを学習しました。一つ目は勾玉についてです。勾玉の石は主に1~10に表されていて今回は一番やわらかい石の滑石を使いました。勾玉は滑石にどのような形の勾玉にするかを考えマジックで書きその通りに削って、あるていどみがけたらやすりでひかひかにみがきました。勾玉作りでは、勾玉の歴史や名前の由来を聞いてとても学習になりました。

二つ目は、クイズを解きながら学習できた展示室での学習です。クイズを解きながらだととても勉強しやすく、とても楽しいのでいつもより、学習しようという気持ちになりました。縄文の森ではふだんでは学習しないことを学習できたのでよかったです。

縄文の森広場を見学して

私は、まがたまは②この形だけだと思っていましたがほんらいは、①このような形だったと言うことをしりとてもおどろきました。さまざまな事をへやで、と私たちがよくしる勾玉になるのですね。縄文時代に鉱物をかこうする技術があったことをとてもおどろきました。たて穴住居の中はいがいと居ごこちがよくおどろきました。そ、といえば、そうすこし外をみてみたかったです。りのもがいろいろなことにつかわれていたのにはびっくりおどろきました。そして同時にむかしの人のくらしが、楽しいんじゃねとおもいました。そしてたいへんもりな体験をさせていただきありがとうございました。

縄文の広場を見学して

僕が縄文の広場を見学しておもしろかったのは、勾玉作りの体験です。勾玉作りで感じたことは、人の手でいっしょうかん命に作るということに僕はすごいな～と感じました。

また、たて穴住居に入って感じたことは家がみんな前を向いていて、太陽の光が当たりやすいようになっていると聞いて、縄文人も頭が良かったんだなと感じました。またたて穴住居の中は、暗くて広く、涼しかったです。それから、たて穴住居は固くじょうぶな栗の木を使って、建てていて、屋根には雨もりがしないように土を使っていました。僕は縄文人の住居や土器などをたくさん見た楽しかったです。

縄文の森広場で分かったこと

ぼくが縄文の森広場に行って分かったことはつあります。

1つ目は、勾玉です。勾玉の形などはきまっていたけれど名前は分からない物でした。でも縄文の森広場に来て分かりました。そして勾玉作りの体験をさせてもらいました。勾玉すごく難しいのかなと思ってましたがじょうずに簡単でした。勾玉が作り終わったらアルコールで手を洗ってもらいました。勾玉をもらえてとても出にあがったです。

2つ目は、縄文の時代の人たちの食べものです。縄文の時代の人たちは、今ではほとんどないような物を食べていました。ものは、ドングリ、クルミ、木の実、キジなどです。ぼくは、今の人たちでは、男性をまさないと食べれないものだと思いました。でも縄文の時代の人たちはキジなどを食べないと生きていけない時代だったのかなと思いました。なのでぼくたちは、いっぱいうまくて食べれるものを食べてみたいと思いました。

縄文の森広場の学習を通して

縄文の森広場の学習を通して授業にはなかったいろんなことを学びました。

1つ目は勾玉(曲玉)作り体験です。

勾玉作り体験で学んだことはまずと勾玉は必ずなとがつけていたピアスがきっかけになっていたことや勾玉を作ることがすごく大変だということがわかりました。

2つ目はたて穴住居です。

たて穴住居に入って学んだことは中は現代とはちがって電気がないのでとても暗く、チッキンがドアに近くてまどがないのでとてもあたたかいということです。

また、栗の木を使って食べ物や家の材料などにつかっているということです。

私は初めて知ったことがいっぱいあったのでこれをもとにしようかにいかしたいです。

「縄文の森広場を見学して」

縄文の森広場についたら雨がふっていたので中に入ってりました。まずはいろいろな材料に入ったり、みたりしてアルコールの上にありました。材料は、ふまの石、コルクリーフの石、いろいろありました。最初に、あ、さいに、まがたまの形をマジックで書いて、コルクリーフを使ってかけずりました。まがたまはけっこうむずかしかったけれど、でもなんとかできました。そして、ものすごくうれしかったです。そのあとは、ものすごくうれしかったです。そのあとは、ものすごくうれしかったです。

仙台市縄文の森広場での学習を通して

6月28日の縄文の森広場の見学では、勾玉作りをしました。使う石は、滑石を使いました。硬度は、縄文時代の人達は硬度7の物にけずっていたということでした。とても少し難しかったのに、そんなに硬度が高いのを使いけずっていたのには、とてもおどろきました。ぼくはつかれたにくたびれ、疲れました。そして、つるつるの勾玉が完成しました。

たて穴住居の見学では実際に入ってみました。暗くて、寒かったためとても広く感じました。この建物の天井は天上が高いため、地面をほるということです。縄文時代の人の知恵と工夫かつまったものの一つだと思います。

クイズもみんなが楽しめ学べるものでした。この学習を通してたくさんのことが楽しく学べました。このような貴重な体験をさせていただいた方々にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

縄文の森広場を見学して

ぼくは、縄文の森広場を見学して学校で習わなかったことがあってとても勉強になりました。

1つ目はたてあな住居についてです。たてあな住居は、学校でどのような木を使っていたかどのように作られたかなどを学びました。しかし縄文の森広場ではたてあな住居に実際に入って、暗くて明るさ、居心地を体験できました。勾玉作りは、おとし難しかったけれど、ボランティア方々が色々なことを教えてくれたので予想より上手にできました。ぼくたちは紙やすりなどを使って勾玉を作りましたが、縄文時代の人たちは紙やすりなどを使わずに作っていたと考えると縄文時代の人たちもすごい技術があったのだなと思いました。遺物の中では、縄文人が実際にどのようにくらしていたかがわかりました。学校の教科書などで勉強するだけではなく、実際に見たりして見学するのもいいなと思いました。

縄文の森広場を見学して

今回、見学させていただいた縄文の森広場では、いろいろなことがわかりました。

勾玉作りの体験はとてもおもしろかったです。滑石は、白くてもとても上手につくることができました。この滑石でよく作るのが大変なのに、もっとかたいなどの勾玉をつくる縄文人の人は、すごいと思いました。さらに勾玉にも色々な種類があり、とても良い勉強になりました。遺跡に実際に入ってみたときは、まっくらでかったのでびっくりしました。たて穴住居の造りも工夫されていたので、学べてすごいと思いました。

展示室では、くらしの様子がくわしくかかれてあって、教科書にもりこんでいないことがかかれてありました。この経験を忘れずに、社会などで生かせたらいいと思います。

じょうもんのまりひつばでまなんだこと

ぼくがじょうもんのまりひつばでまなんだことは、2つあります

一つめは、たてあなじゅうきょのくふうです。虫がはらないようにするためにゆかをたかくしたり、しっけをためないようにドアをつけたりしたくふうがたくさんありました。

二つめは、じょうもん人の食べものについてです。サケ、キジ、とち、くるみ、くり、などを食べていることがわかりました。

たくさんのことを知ることができてよかったです。

見学させていただき、ありがとうございました。

今回は、実際に感じたり見たり作ったりして勉強しました。

このような勉強のしかたもいいなと思いました。博物館官に行ったりしてもおもしろそうだなと思いました。ぼくは、もっとも記念館や博物館官に行ったりするのはあまりすきではなかったのですが今回はすきすきになった気持ちになりました。今回はすごくにありがとうございました。

縄文時代

先日は縄文の森広場を見学させていただきありがとうございました。今までぼくは社会の授業を通して歴史=人物と思っていました。しかし今回の勾玉作りなどを行い歴史=人物だけではないことを思いました。ぼくは今回の体験で縄文住居に入ったりしてまるで本当に縄文人になった気分でした。特にそう感じたのは勾玉を作ったときです。ぼくはスタッフさんの話していた「勾玉は縄文時代でも作っていた」と聞いてとてもおどろきました。ぼくは作るのは当ぜん好きな方なので(アイシャンがんばり)今回の勾玉作りはすごくいい経験になったと思います。ついでに言うとぼくの好きな時代は縄文時代です。その理由は昭和中期の発掘などとはちがう人々が協力しているからです。なので今回の体験はとても楽しかったです。最後に八平小学校にこのような貴重な時間をくださってありがとうございました。

縄文の森広場で学んだこと

縄文の森広場で学んだことは2つあります。
1つ目は勾玉作りの体験で勾玉の作り方や勾玉は昔何で作っていたのかなど知らなかったことなどがたくさん学べました。
2つ目は山田上ノ台遺跡の縄文のムラで家にいて中に入ったことです。家の中はすごい焦げくさかったり、中央が地面より低くて家は全てくりの木でできていることなど屋根にはまがの、ていあまもりなどを防ぐことや太陽の光がさしこむように全ての家の入口が南をむいていることがわかりました。私は縄文の森広場のたんけんノートにクイズがあってクイズを解きながら見学できたのがとても楽しかったです。

縄文の森広場を見学して

私が縄文の森広場を見学して、学んだことは、主に二つあります。一つは、勾玉作りの体験をして、縄文時代の人々がつけたアクセサリーを作るのに、中々大変だったということです。石のかたさを学び、一番かたくない石で作ったのにもかかわらず、とても難しい作業でした。また、勾玉がなぜ勾玉、ということや、石が割れてしまったとき、どのように活用するのかを知ることができて勉強になりました。もう一つは、たて穴住居に実際に入ったことです。中は少しすずくらくて、こけくさかった。そして、家のつくりについても、説明していただき縄文時代の人々が家をつくるのにあたってのエ夫を感じることができました。
縄文の森広場を見学して、縄文時代の人々の様子を感じることができました。また、たくさんのことを学ぶこともできて良かったです。

縄文の森広場で考えたこと思ったこと

縄文の森広場でいろいろなことを学べました。体験もしました。初めは勾玉つくりを体験できていなかったのですが、もってもってしまったりしてもうまくできました。ほかにもおかしの勾玉を見ることもできました。もっと楽しくつくれて、思ったより長いまった。縄文の森広場で学べてよかったです。

縄文の森広場を見ました

私が縄文の森広場で学んだことはたくさんあります。1つ目は、勾玉作りです。勾玉作りでは、なかなか思い通りのかたになりずらいかったです。勾玉は、もともとイノシシのきばで縄文人が使っていたビーズのようなものが割れてすてられたものを、ひっくりしました。
2つ目は、実際にたて穴住居に入ったことです。たて穴住居には、木炭のようにかたくなったものもあって、ほかにもいろいろあって、縄文人の食べ物は、たくさんあったのだなと思いました。
3つ目は、展示コーナーで学習したことです。縄文時代の人のくらしがよくわかりました。くりやくるみ、どんぐりなどのいろいろな物を食べていたんだなと思いました。土器の縄文土器もあって、みてみました。本物は、縄の模様がついていました。当時の人は、美しい模様をわりつけた。縄文土器を作っていたんだなかと、感心していました。作っていたり、押りを思ったりから、作った人たちもいたのかなっていました。実際に使われた道具も本物ばかり、どんなことに使われたのかを知ることができたし、学校では学べないことをたくさん学べてよかったです。

縄文の森広場を見学して

ぼくが縄文の森で学んだことは、まず勾玉作りについてです。勾玉の形がなぜ曲っているのかについて考えたこともありませんでした。もとになった形が曲がっていたと聞いたときはおどろきました。作るときは、曲っているところをけずったりするときはとくに集中しかったです。たて穴な住居の中には、変わった形などがしておもしろかったです。クイズでは、さがすのが大変でしたがクイズの問題以外にもいっぱい学べて楽しかったです。時間が短く感じましたが縄文時代のことをいっぱい知れて楽しかったです。次は家族いきたいです。

縄文の森広場を見学して

きのうは、縄文の森広場にいって多くの歴史についてしりました。最初は勾玉作りです。勾玉作りでは、かっ石と石で勾玉を作りました。最初はうまくできるかしんぱいでした。でもやってみるととてもたのしく、さぶんはむかしの人みたいでした。スクリーンで勾玉の由来などを聞き、とても勉強になりました。勾玉作りが終わって昔の人が住んでいたたて穴住居にいきました。そこでは、昔の人は地面にあなをほってそこに家を作っていたことや、まがきやねというやねをつかっていたこともわかりました。次は展示室にいきました。昔の村の人達がつかっていたどうぐやどうゆう生活をしていたのかなどしらべてとてもものしりになれたようなきがしました。このけいけんを勉強にもやくだてばいいなと思いました。

「縄文の森広場を見学して」

私は、縄文の森広場の見学で、勾玉作りでの体験で感じたことは、3つあります。1つ目は、勾玉の由来です。勾玉の形は、5つ人となった理由ってどんなだろ思いましたが、3つ目は昔まつくりの大変さです。それより分かったのは、昔の人はこれ作りたいと石をつかって何日もかけてつくったというのがびっくりでした。それにダイヤモンドせっものをこわれたいのを作りました。
3つ目は、たて穴住居です。たて穴住居の中に入ってみると、中は、思ったよりでかいありませんでした。中は本ができていることは、知っていましたが、何の本かはわかりませんでした。ですが今回見学してこれのことがわかりました。
縄文の森広場に見学して、今までにわかりつなかったことがたくさんわかりました。勾玉についてや、たて穴住居について、展示コーナーにあるものなどを観ることそこれからの学習に生かしていこうと思いました。

縄文の森広場で学んだこと

私は、この学習を通して、縄文時代について初めて知ったことがたくさんあります。勾玉作りでは、勾玉についてお話を聞きながら実際に石をけずって、きれいな勾玉を作ることができました。石をけずるのは力も必要で、なかなか思うような形に最初はなりませんでした。でも縄文人は、私たちが使った石よりもはるかにかたい石を使っていたと聞き、おどろきました。また、作っているさいに割れてしまった石かっ、りを縄文人はくふうして別の物として活用したりと、縄文人の知恵はすごいと思いました。
竪穴住居に実際に入ってみると、昔なつかしいにおいがしました。入口はせまく、やしきまいのかと思いましたが、中に5人近くが入れて、不思議でした。縄文時代の物には、様々なくふうや、人々の知恵がつまっているのだと思いました。今回学んだことは、これからの社会科の学習などに役立てていきたいと思います。

縄文の森広場を見学して学んだこと

私が見学を通して学んだことは3つあります。
1つ目は、勾玉の歴史と作り方です。私達の知っている勾玉の形とは違う形を縄文人は作っていて、その始めの形は動物のつのやきばで作っていたことが分かりました。また、ていねいに指導して下さったので、勾玉を上手に作ることができました。
2つ目は、たて穴住居の特徴です。教科書等は絵で学べましょうかいできないため、難しいこともわかりにくいことがあります。縄文の森広場のたて穴住居に入ってみて、今まで知らなかった3つのことが分かりました。
3つ目は、山田上ノ台遺跡についてです。私は山田上ノ台遺跡という遺跡の名前を初めて聞きました。また、何年前の遺跡かということも全く知らなかったので、縄文の森広場での遺跡のことを教えてくれてとてもうれしかったです。
私は歴史がとても好きです。ここに校外学習に来てから、もう1度ここに来てみたいと思いました。勾玉作りや遺跡、昔の物についての説明をていねいにして下さり、ありがとうございました。

縄文の森広場で学んだこと

私は今回、色々なことを学びました。まずは、勾玉です。勾玉は、どうしてまがっているか、知ってびっくりしました。勾玉作りで感じたことは、型を書くのがとてもたくさんつらかったです。後は、ブロックでけずるのも大変でした。でもが、最後まけずにがんばったらとてもピカピカになったのでとてもうれしかったです。今後、家族や縄文の森広場へ行き、今度は、色のついた勾玉を作ってみたいと思いました。
・次はたて穴住居に入ってみて、思ったことは、うす暗くて寒いなと思いました。たて穴住居の説明を聞いて38けんもあったんだというびっくりがありました。
次は、展示コーナーに入り、思ったことです。まず、土器がたくさん見つかったことにびっくりしました。土器のパズルをやっていることが楽しかったことです。いろいろなものがあることに気づきました。ハナちゃんの家を見て、縄文人がどんなような生活をしていたのかがわかりました。
縄文の森広場を見て、縄文人がどのような生活をしているのか、たて穴住居にはどのようなものがあるかいろいろなことを知ることができました。

ぼくは、縄文の森広場を見学して学校で習わなかったことがあったので勉強になりました。

1つ目は、たて穴住居についてです。たて穴住居は、学校でどのような建物であったかを教えたりどうやって作ったりしたかなどを学べました。(中)縄文の森広場では、たて穴住居に実際に入ってみて明るさ、広さ、暗さを体験できました。勾玉作りは、すこし難しくあったりしたが、ボンボンなどを使ってみたりして、ぼくたちは、絵がきりなど使って勾玉作りをしたが、縄文時代の人たちは、絵がきりなどを使わずに作ったりしたんだなと思いました。建物の中には、縄文人が実際に住んでいたりしていたかがわかりました。勾玉作りは、難しかったけど、頑張ってやったりすることが、大切だと思いました。

今回は、実際に感じたり見たり作ったりして勉強しました。このような勉強のしかたもいいなと思いました。博物館に行ったりしてもおもしろそうだなと思いました。ぼくは、もっと記念館や博物館に行ったりするのはもっと好きではなかったのでしたが今回はやる気になった気持ちになりました。今回は、ありがとうございました。